

厚生労働省医政局御中

要望書

計画停電は周産期診療に支障をきたします ハイリスク受け入れ病院の自家発電用重油補充を 確保してください

平素より周産期診療にご配慮いただきありがとうございます。

さて、本日の計画停電により、千葉県において新生児集中治療室を閉鎖したために、患者を関東エリアの他県に搬送依頼せざるを得なくなる事態が発生しました。このたびの大震災ならびに福島の影響で、正常ハイリスクを問わず、妊婦・新生児が災害地域より周辺地域へ移動しております。もとより余裕がなく、電気消費量の多い周産期センターが計画停電のために中断、閉鎖されることになれば関東エリア内での病床の奪い合いとなり、被災地のハイリスク妊婦、ハイリスク新生児の受け入れがますます困難になります。

周産期センターのある病院の計画停電を中止、または自家発電用重油補充の確保を至急お願いいたします。

平成23年3月19日

日本周産期・新生児医学会
理事長 田村正徳



日本未熟児新生児学会
理事長 戸苅 創



新生児医療連絡会
会長 中尾秀人

